

広島記念病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用を行わせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は各臨床研究の連絡先までご連絡ください。

研究課題名	術前補助化学療法(NAC-GS)を施行した解剖学的切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を検討する全国多機関後方視的検討 (NAC-PIONEER trial)
研究責任者 (所属科名)	広島記念病院 消化器センター長 村上 義昭
本研究の目的・意義	膵癌に対する治療戦略は切除可能性分類に従って行われています。その中で、切除可能膵癌に対しては、ゲムシタビン塩酸塩とティーエスワンを用いた術前補助化学療法(NAC-GS)を行うことが標準治療とされています。しかし、NAC-GS後に根治切除術を施行しても、術後早期に再発をきたすことがあります。術前補助化学療法後に根治切除した場合の生存成績について多数例での詳細な検討の報告はなく、早期再発の予測因子は明らかではありません。本研究ではNAC-GS後の切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を同定することを目的とし、このことは膵癌の治療戦略の再考や更なる予後延長にとって重要です。
研究予定期間	倫理委員会承認後より 西暦 2027年12月31日まで
該当資料・データ	2019年1月1日から2024年6月30日までの間に、切除可能膵癌に対して、ゲムシタビン塩酸塩とティーエスワンを用いた術前補助化学療法(NAC-GS)で初回治療を開始後に根治切除術を受けた方
個人情報の取扱い	研究対象者の個人情報を保護するため、症例報告書をはじめとする書簡類はすべて氏名、カルテ番号を削除し匿名化を行う。研究対象者を識別するための対応表は、外部に提供することではなく、また、研究発表の際には、個人が特定される情報は含まない。
共同研究機関	主研究施設 国立大学法人富山大学 主研究施設責任者 富山大学 学術研究部医学系 消化器・腫瘍・総合外科 教授 藤井 努
本研究の資金源 (利益相反)	特になし(この研究で利害関係が想定される企業・団体からの経済的な利益やその他の関連する利益は受けていません)
お問い合わせ先	【研究に関する問い合わせ先(分担施設・研究事務局)】 担当者:橋本 泰司 所属機関:広島記念病院 730-0802 広島市中区本川町1-4-3 電話番号:082-292-1271 平日午前9時から午後5時